

まくせのやしろ  
万九千社  
たちむしじんじや  
立虫神社

社報



かむべ さと  
神戸の郷

第四八号 平成二十七年春

「発行」二月吉日

よこや  
代宮家 (錦田)

うららかな春の陽射しを浴びて、生命（いのち）の芽吹く季節です。その命の力、自然の営みにあやかり、神社におきましては、春のお祭りを御奉仕します。



今季の祭

三月二十七日

(金曜日)

かかんがくさい  
一、勸学祭

午後一時より、神社にて齋行

祝！小学校御入学  
中学校御卒業

この春、晴れて小学校入学の歳と中学校卒業の歳を迎えた子供達が、氏神様にそろって参拝します。

神前に、入学、卒業の時を迎えたことを奉告、感謝し、これから先の心と体の健やかな成長、勉学の成就をお祈りするものです。

希望に満ちた輝く眼の子供達とそれを見守る家族のやさしい眼差しが

印象的なお祭りです。

氏神様もきつと目を細めていらつしやることでしょうね。



※御参拝の方は、十二時五十分までに拝殿へ御参集下さい。  
制服、スーツなど神前で礼を失さない服装でお参り下さい。

家族のあふれる愛情を受け、育っていく子供達。

かつて、子育ては、家族だけではなく、近所の「わいおじさんや、やさしいおばさんも、お兄さんもお姉さんも、みんなが、その躰役でした。  
良いことをしたら褒める、悪いことをしたら叱る、悲しんでいたら訳

を聞いてそつと慰める、嬉しかったら一緒によろこぶ、楽しかったら皆で笑う…たったそれだけのこと。

多感な子供達と、地域の大人が何気なく声を掛け合う、挨拶を交わし合う。でも、現代の大人が忘れそうなとても大事な事なのです。

少年少女をめぐる殺伐とした事件や問題が続発する今こそ、地域あげて、私たちの宝、未来を担う彼女らの健やかな歩みを見守っていきましょう。

きつと勸学祭には、氏子(地域)みんなで、子供達の成長を支えていく決意を神々に誓う意味も込められているのではないのでしょうか。

どうか、この子供達の未来が、心豊かな日々でありますように…。



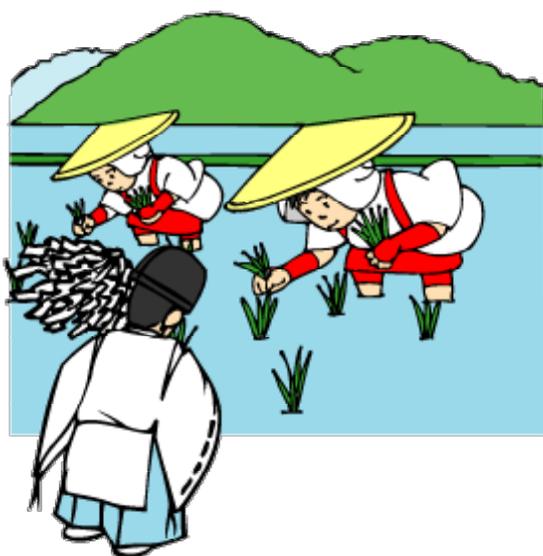
## 一、祈年祭きねんさい(としごひのまつり)

午後二時三〇分より神社にて齋行

春祭りの中心となる祭典です。

宮司以下の神職が、古式にのっとり装束を身に着けて、厳かに御奉仕します。御神前に山のようにたくさんのお供え物をして、氏神様をおもてなしし、宮司が祝詞を奏上します。

祝詞では、今年一年が良い年でありますようにと、稲をはじめとする五穀の豊穰とその豊かな稔りに支えられた工業、商業など諸産業の繁栄、



人々の幸と平安を感謝しつつ御祈念します。

当日は、氏子を代表して、総代の皆様に昇殿してもらい、まごころ込めて玉串拝礼していただきます。

※氏子さんの各家に、春祭りのお札と御洗米を授与しますので、**当番の方は、午前八時三〇分から午後二時までにお参りのつねにお供え下さい。**よろしくお願いいたします

# 【大切なお知らせ】

氏子の皆様

代宮家

宮司 錦田 剛志

## 社頭境内地の取得と整備工事の実施

時下ますます御清栄のことと拝察します。

平素は氏神様の護持につきまして、格別の御尽力を賜りあつく御礼申し上げます。

前宮司の帰幽から早くも2ヶ月以上が経ち、先頃五十日祭も無事に齊行致しました。生前のご親交はもとより、入院から逝去、葬祭に至るまで、皆様には格別のお心遣いを賜りましたこと重ねて御礼申し上げます。亡き父もきつとよるこんでいることと存じます。本当にありがとうございます。うございました。

さて、昨年の正遷宮に際し、代宮家が土地代を寄進し、神社として社頭境内地2箇所（鳥居のある歩道を挟む東西の土地）を取得致しましたことは御承知の事と存じます。

この土地につきましては、名実ともに専ら祭祀儀礼（宗教的行爲）に用いる信仰上の重要な境内地（非課税の地目）として永代護持していかねばなりません。

そこで、このたび責任役員、神社総代会の承認を得まして、当該土地を、明確に被所及び湯立場、さらには奉仕者・参拝者専用駐車場に位置づけ、今後の維持管理を適正かつ円滑に行うため、景観舗装（特殊アスファルト舗装）を伴う環境整備工事を実施することに致しました。

この工事を実施することで、将来にわたり、草刈りや土砂の普請整備の負担を軽減し、境内地としての機能を明確化する事も可能になるものと思われれます。

なお、これにかかる全ての経費は、この度の正遷宮に際して代宮家に頂戴したお祝い、前宮司の葬祭の折、錦田家に献供いただきました玉串料等の返礼の意味を込めまして、代宮家が神社にお供えする寄付金を充当致します事を申し添えます。

三月中には竣工予定ですが、氏子の皆様におかれましては、大切な境内地として、この土地を末永くお護りいただきまして、格別のご理解とご協力の程をお願い申し上げます。

右、御礼かたがたご報告まで申し上げます。